

特集 1

# 第50回国民体育大会に向けての 競技力向上をめざして

## 保健体育課

資料1-1 国民体育大会開催地 (抜粋)

一 巡 目			二 巡 目		
回	開催年	開催地都道府県	回	開催年	開催地都道府県
1	昭和21	京都・大阪・奈良 滋賀・兵庫	43	63	京 都
2	22	石 川	44	平成元	北 海 道
3	23	福 岡	45	2	福 岡
7	27	福 島 宮 城 山 形	46	3	石 川
8	28	愛媛・香川・徳島 高知	47	4	山 形
9	29	北 海 道	48	5	香 川
16	36	秋 田	49	6	愛 知
19	39	新 潟	50	7	福 島
41	61	山 梨	51	8	広 島
42	62	沖 縄	52	9	大 阪
			53	10	神 奈 川

※○第3回福岡国体から天皇杯下賜  
○第16回秋田国体から国体のテーマ・スローガンの設定  
○第19回新潟国体以降、開催道府県が天皇杯を獲得

資料1-2 第50回国民体育大会実施予定競技

季 別	競技数	正 式 競 技	公開競技
冬季大会	3	(1)スキー (2)スケート (3)アイスホッケー	
夏季大会	5	(1)水泳 (2)漕艇 (3)ヨット (4)カヌー (5)ボウリング	
秋季大会	31	(1)陸上競技 (2)サッカー (3)テニス (4)ホッケー (5)ボクシング (6)バレーボール (7)体操 (8)バスケットボール (9)レスリング (10)ウエイトリフティング (11)ハンドボール (12)軟式庭球 (13)卓球 (14)自転車 (15)軟式野球 (16)相撲 (17)馬術 (18)フェンシング (19)柔道 (20)ソフトボール (21)バドミントン (22)弓道 (23)ライフル射撃 (24)剣道 (25)ラグビーフットボール (26)山岳 (27)アーチェリー (28)空手道 (29)銃剣道 (30)クレール射撃 (31)なぎなた	高等学校 野 球  ス ポー ツ 芸 術

昭和61年6月—第50回国民体育大会福島県準備委員会  
第2回常任委員会において決定

はじめに

第一回大会開催以来、半世紀を迎える記念すべき第五十回国民体育大会が平成七年に本県で開催される。このことは、本県の体育・スポーツ界にとって画期的なことであり、これを契機に体育・スポーツの普及・振興を図るとともに、競技力向上の面でも多くの県民の期待に応えるよう長期的展望に立った施策を積極的に進めていかなければならない。

このような観点から、昭和六十三年八月、「第五十回国民体育大会福島県競技力向上対策本部」を設置し、同年三月に本県競技力の向

上を図るうえでの指針となる「第五十回国民体育大会福島県競技力向上推進総合計画」を策定した。

現在、この計画に基づき、平成七年に向けて計画的に(財)県体育協会をはじめ各競技団体、学校体育団体、県企業スポーツ連絡協議会、開催市町村等と一層の連携を図りながら競技力向上に係る各般にわたる事業を積極的に推進している。

国民体育大会の概要、本県の競技力の現状や課題、競技力向上推進総合計画、本年度の主な事業については次のとおりである。

一、国民体育大会の概要

◆国体の始まり

国体は第二次世界大戦後の、国民の沈滞した志気を高揚させることを願って、昭和二十一年に比較的戦災が軽かった京都を中心にして近畿地方で第一回大会が開催された。以後、都道府県持ちまわりで毎年開催されている。

◆目的

国民体育大会開催基準要項では「広く国民の間にスポーツを普及し、アマチュアリズムとスポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。」とその目的を規定している。